

季刊

社会福祉法人
名古屋市総合リハビリテーション事業団

オレンジロード

ORANGE
ROAD

2017年
夏号
vol.14

INDEX

- ◆事業団評議員会・理事会が開催されました
- ◆平成28年度 事業団決算について
- ◆第20回 国際福祉健康産業展
～ウェルフェア2017～
- ◆名古屋市総合リハビリテーションセンター
説明会開催のご報告
- ◆接遇等研修を実施しました
- ◆平成28年度 業務研究等事業の報告
- ◆居場所・サロン事業報告(6・7・8月)
- ◆イベント情報
- ◆募集・事業所案内

発行：季刊オレンジロード編集委員会



事業団評議員会・理事会が 開催されました



平成29年6月19日、第33回評議員会および第83回理事会が開催されました。社会福祉法人制度改革により、平成29年度から社会福祉法人の組織体制が大きく変わりました。「法人運営に関する重要事項の議決機関」として評議員会、「業務執行の決定・理事長等の職務の監視機関」として理事会が設置され、また計算書類

等（予算・決算等の経理業務全般）の監査を行う会計監査人も新たに設置されました。

今回開催された第33回評議員会は、平成29年4月から任期が開始した新評議員が出席し、新理事・新監事が選任されるとともに、会計監査人としてCTS監査法人が選任されました。また、平成28年度の事業報告（各部門の事業実績）・決算についても承認されました。

続く第83回理事会においては、新理事の出席のもと理事長・副理事長（業務執行理事）の互選が行われ、松井理事長・長谷川副理事長が選出され、新しい組織体制が整いました。

平成28年度 事業団決算について

<平成28年度事業団 資金収支決算総括表>

収入決算額 a	収入内訳				
	指定管理料	市委託料	市補助金	県委託料	その他収入
3,648,051,144	3,260,617,867	183,686,450	34,220,717	13,646,000	155,880,110

支出決算額 b	支出内訳			
	人件費	事業費	事務費	その他支出
3,708,004,900	2,110,781,101	385,292,104	1,054,012,188	157,919,507

本年度繰越額 (収入-支出) c=a-b	前年度繰越額 d	次年度繰越額 c+d
△ 59,953,756	340,066,800	280,113,044

※収入と支出の内訳を記載したもので、事業団の会計上21あるサービス区分を合算した表。

●収入の決算額は、36億4805万円余——名古屋市からの指定管理料、市委託料、市補助金収入が収入全体の95.3%を占めています。内訳は、指定管理料収入が32億6061万円余、市委託料が1億8368万円余、市補助金収入が3422万円余となっています。

●支出の決算額は、37億800万円余——内訳は、人件費が21億1078万円余、医薬品などの事業費が3億8529万円余、医療機器の賃借料や保守料などの事務費が10億5401万円余となっています。人件費の支出が支出全体の56.9%を占めています。

●繰越金——収入総計から支出総計を差し引いた本年度繰越額がマイナス5995万円余となっています。この不足分については、前年度繰越金3億4006万円余を充当しました。その結果、2億8011万円余が次年度繰越金となります。



第20回 国際福祉健康産業展

～ ウェルフェア2017 ～



平成29年5月18日～20日、ポートメッセなごやにて、第20回国際福祉健康産業展 ～ウェルフェア2017～が開催されました。当事業団は毎年、主催者である名古屋国際見本市委員会に参画するとともに、なごや福祉用具プラザがこの展示会に出展しています。

今年度は、なごや福祉用具プラザに加え、障害者

スポーツセンターも「障害者スポーツの普及・振興」をコンセプトに出展しました。

3日間で延べ1,000名ほどの来場者がブースを訪れ「見て・聞いて・体験」を通じて福祉用具の身近さや障害者スポーツの魅力と奥深さを感じていただきました。

しょうへい
パラリンピアン・学識経験者を招聘し「シンポジウム」を開催!

5月20日には、3年後に開催される東京2020パラリンピック競技大会にむけ、パラリンピアンや学識経験者等をお迎えし、シンポジウムを開催しました。地域における障害者スポーツの在り方やトップアスリートの活動を通じて、これから求められるハード面・ソフト面の取り組みとその先について議論を行いました。



今後、東京2020オリンピック・パラリンピックのムーブメントを追い風に、障害者スポーツがより身近なスポーツとなるよう取り組んでまいります。

コーディネーター	大槻 洋也 氏	至学館大学 健康科学部 健康スポーツ科学科 教授 日本パラリンピック委員会 強化委員会 委員長 リオ2016パラリンピック競技大会 日本選手団 団長
シンポジスト	中森 邦男 氏	公益財団法人日本障がい者スポーツ協会 強化部 部長 日本パラリンピック委員会 事務局長 リオ2016パラリンピック競技大会 日本選手団 副団長
	廣瀬 誠 氏	リオ2016パラリンピック競技大会日本代表選手 柔道 60kg級 銀メダル
	池崎 大輔 氏	リオ2016パラリンピック競技大会日本代表選手 ウィルチェアラグビー 銅メダル
	笠本 明里 氏	リオ2016パラリンピック競技大会日本代表選手 水泳 100m背泳ぎ
	芦田 創 氏	リオ2016パラリンピック競技大会日本代表選手 陸上競技 走り幅跳び 男子4×100mリレー 銅メダル

名古屋市総合リハビリテーションセンター 説明会開催のご報告

平成29年7月12日（水）に、名古屋市総合リハビリテーションセンター説明会を開催しました。この説明会は、当センターで行われている障害のある方に対する一貫した支援の流れを関係機関の職員の方々に紹介するために開催するもので、昨年度に引き続き3回目の開催となります。

今年度より開催時間を1日とし、当センターの事業や支援の流れ、看護部門、リハビリテーション部門、自立支援部門、高次脳機能障害支援部門の各部門の支援内容や当センターの附属病院と障害者支援施設を利用した事例についての紹介、センターの見学を行いました。

当日は、医療機関のソーシャルワーカーや障害者基幹相談支援センターの相談支援専門員の方を中心とした46名の方にご参加いただきました。

今回の説明会について良かった点、改善すべき点を次回に活かすとともに、当センターと関係機関の職員の方々とにより良い関係づくりのために、説明会をはじめとした広報に力を入れてまいります。



接遇等研修を実施しました

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（通称「障害者差別解消法」）が施行され、1年が経過しました。「障害者差別解消法」は、「不当な差別的取扱いの禁止」と「合理的配慮の提供」を柱として共生社会を目指すものです。事業団では、職員対応要領を策定し、適切な対応の推進を図ってきたところですが、障害者差別解消に関する職員のさらなる理解向上と、利用者接遇の向上を図る観点から、全3回の研修会を開催しました。



第1回 障害者差別解消法について

平成29年5月30日（火）開催

講師：生活支援課 福岡 良太さん

第2回 精神障害の方への対応について

平成29年6月2日（金）開催

講師：基幹相談支援センター 小川 早弓さん

第3回 障害当事者の立場からの意見

平成29年8月8日（火）開催

講師：基幹相談支援センター 高田 圭子さん、視覚支援課 山下 宏司さん



平成28年度 業務研究等事業の報告

平成29年7月14日（金）に、平成28年度の業務研究等事業報告会を開催しました。この事業は質の高いサービスを提供する基盤となる研究等を推進し、職員の職務能力等の向上を図るために行うものです。今回は5人の職員が報告を行いました。

①回復期脳卒中片麻痺患者における ReoGo-Jを使用した上肢リハビリテーションの安全性および有用性の検討

《作業療法科 庵本 直矢》

- 結果**
- ・脳卒中片麻痺患者6名で麻痺側の肩・肘・前腕機能が有意に改善した。
 - ・手指やADL、日常生活での麻痺手の使用に関する訓練には療法士が必要。

②脳卒中者に対する無動力歩行支援機 ACSIVEの有用性の検討

《西部リハビリテーション事業所
（現 理学療法科） 石黒 正樹》

- 結果**
- ・歩幅、股関節屈曲角度が有意に増加した。
 - ・自覚的歩行改善度が変化しなかった4名は使用への期待が大きかった。

③薬薬連携に関する調査

《薬剤科 内田 裕子》

- 結果**
- ・一包化薬、眠剤等は残薬が少なく、鎮痛薬、外用薬、便秘薬等は残薬が多かった。
 - ・残薬は自己調節、飲み忘れ、入退院などが原因で、病院と保険薬局の連携に検討が必要。

④入院患者に対し、居宅を訪問して理学療法を実施する時期についての検討

《理学療法科 辻 朋浩》

- 結果**
- ・入院から40日以内に居宅訪問した群の方が1日あたりのFIM増加率が高かった。
 - ・患者不安感や不安に感じる動作が居宅訪問後に減少した。

⑤下肢ボツリヌス療法での理学療法介入方法の違いが下肢機能・歩行能力に与える影響

～異なった2種の理学療法による比較検討～
《理学療法科 戸田 海渉》

- 結果**
- ・ストレッチ中心の訓練では足関節の可動域が改善し、運動療法中心の訓練では6分間歩行後の下肢疲労感が軽減したことから、目的により訓練内容の検討が必要



なお、平成29年度に実施されている業務研究等事業は以下の通りです。

- ①健常者の2動脈硬化に関する検討 ～健常者と生活習慣病者の比較～ 《検査科 藤田 裕美》
- ②脳循環代謝測定法の違いによる定量値の相違の検討 《放射線診断科 後藤 啓介》
- ③回復期以降の個別心臓リハビリテーション対象者に関する考察 《理学療法科 浅井 梢子》
- ④反復性経頭蓋磁気刺激(rTMS)の下肢機能に対する治療効果の予備的研究 《理学療法科 野末 琢馬》

居場所・サロン事業報告



あなたは大丈夫？ メタボリックシンドローム

6月

平成29年6月12日（月）福祉スポーツセンターにて「あなたは大丈夫？ メタボリックシンドローム」を開催しました。今回は福祉スポーツセンターのスポーツ教室と共同にて開催しました。

メタボリックシンドロームの予防・改善のための生活習慣（食事、運動）の説明と、椅子に座ってできる運動の実演を行いました。相談会では「メタボリックシンドローム」に関連する栄養や生活習慣に関するご質問を皆さんからいただき、保健師と体育指導員がそれぞれに回答していました。



7月

くすりの疑問にお答えします

平成29年7月25日（火）福祉スポーツセンターにて「くすりの疑問にお答えします」を開催しました。今回は薬剤師より、くすりの飲み方や管理方法などのあれこれをQ&A形式で講義を行いました。

参加者の皆さんからは講義中から質問をいろいろといただきました。くすりは身近なものであり、体への影響がどの程度なのかなど関心の高さが伺えました。



地活のメニュー クラフトを体験しよう

8月

平成29年8月4日（金）地域活動支援センターつきみがおかにて「地活のメニュークラフトを体験しよう」を開催しました。

今回はつきみがおかで行っているクラフト（カゴ作り）を体験し、実際に参加者に製作していただきました。クラフトの経験がある人も、ない人も皆さん「説明書だけでは分からないけど、こうやって教えてもらえるから、完成させることができた。」と満足した様子でした。



今後も地域にお住まいの皆さまのお役に立てるよう、いろいろなご相談をお受けしていきたいと考えております。




- 2017年 東海障害者水泳記録会


日程：平成29年9月24日（日）

- 第17回 全国障害者スポーツ大会

日程：平成29年10月28日（土）～30日（月）

- 名古屋市障害者スポーツ大会

日程：平成29年11月12日（日）（ボウリングの部）
 平成29年11月16日（木）（バレーボールの部）
 平成29年11月19日（日）（卓球の部）



場所、対象者、申込方法等詳細は事業団ウェブサイトまたは下記問い合わせ先へ。

◆問い合わせ：名古屋市障害者スポーツセンター 電話：052-703-6633 FAX：052-704-8370

障害者スポーツセンターからのお知らせ

受変電設備工事および体育室空調工事に伴う施設利用制限について

平成29年10月5日（木）から平成29年11月14日（火）まで、全ての施設の利用ができません。利用者の皆さまには大変ご迷惑をお掛けしますが、工事期間中は名古屋市と連携を図り、安全第一で施設修繕を進めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



- 福祉用具の日

日程：平成29年10月1日（日） 10:00～16:30

場所：なごや福祉用具プラザ

- 後期家族介護者教室「楽しく介護のすすめ～介護体験講座～」

名古屋市内東部・北部・西部・南部・中部で実施。各4回。

対象者、日時、申込方法等の詳細は事業団ウェブサイトまたは下記問い合わせ先へ。

◆問い合わせ：なごや福祉用具プラザ 電話：052-851-0051 FAX：052-851-0056

事業団職員大募集

「私たちと一緒に働きませんか」

▶現在募集中

嘱託職員

嘱託就労支援員補助

お問い合わせ先

社会福祉法人名古屋市総合リハビリテーション事業団

総務部総務課 採用担当

〒467-8622 名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2

電話番号 052-835-3811

最新の募集情報、待遇の詳細は事業団ウェブサイトをご参照ください。

事業団ウェブサイト

<http://nagoya-rehab.or.jp>



事業団公式Twitterはじめました!

名古屋市総合リハビリテーション事業団@公式 → @nagoya_rehab

事業所案内

・名古屋市総合リハビリテーションセンター

・福祉スポーツセンター

・障害者就労支援センター めいりは

〒467-8622

名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2

電話：052-835-3811 FAX：052-835-3745

・瑞穂区障害者基幹相談支援センター

・地域活動支援センター つきみがおか

〒467-0035 名古屋市瑞穂区弥富町月見ヶ岡5

NTT西日本八事ビル1階

電話：052-835-3848 FAX：052-835-3743

なごや福祉用具プラザ

〒466-0015

名古屋市昭和区御器所通三丁目12-1

御器所ステーションビル3F

電話：052-851-0051 FAX：052-851-0056

名古屋市障害者スポーツセンター

〒465-0055

名古屋市名東区勢子坊二丁目1501番地

電話：052-703-6633 FAX：052-704-8370

西部リハビリテーション事業所

〒453-0855

名古屋市中村区烏森町六丁目298番地

電話：052-486-2400 FAX：052-471-3710